

日本銀行「地下金庫」

施設管理者 : 日本銀行
施設所在地 : 東京都中央区
調査見学時期 : 平成 21 年 10 月 23 日 (金)

施設概要

日本銀行旧館地下 1 階にある地下金庫は、明治 29 (1896) 年から平成 16 (2004) 年 6 月まで 108 年間使用されていた日本最初に造られた地下金庫です。総面積は 1,426 m²でほぼ野球場の内野の広さにあたります。

地下金庫入口から最奥部までには 3 つの大きな扉があり、最初の扉は昭和 17 年に金庫の面積を広げた際、米国ヨーク社製の扉で、厚さ 900mm、重量 25 t もあります。この扉を入ると回廊があり、さらに回廊奥の金庫室までには英国製の厚さ 100mm の扉があります。回廊の左右には鉄格子で覆われた金庫室があり、日本銀行券・金塊 (レプリカ) などが保管されており、備え付けの鉄製引き出しには有価証券が収められていた様子を見ることが出来ます。最奥部の扉は、厚さ 100mm の日本製扉があり、その奥は八角形の金庫室で、金庫の内部の壁と天井のレンガは建築当時のままで、力を分散するためにアーチ状に積まれており、重厚感漂う地下空間施設です。金庫内は天井の壁や床の通気口を通して換気が行われ、紙幣や証券を湿気から守りました。しかし、関東大震災では火災の消火活動で大量の水が使用され、一部の水が金庫に流れ込み、その際に出来たとみられる壁のしみは今でも残っていますが、金庫そのものは全く被害を受けず、震災後も一日も休むことなく営業を続けたそうです。

日本銀行旧館は多くの人に金融に対する知識を高めてもらい、興味を持ってもらいたいという考えから一般公開されており、希望日の 1 週間前までに予約すれば、1 人からでも見学可能です。

参) * 申込み先 : 03-3277-2815 (日本銀行情報サービス局見学担当)

● ホームページ ● <http://www.boj.or.jp>

